

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会
令和4年度事業報告書
(令和4年4月1日より令和5年3月31日まで)

I 公益事業

1、クラシック音楽普及事業（定款第4条第1号関係）

(1) コンサート情報アプリ「チラシクラシック」の運営

クラシック音楽の普及と新規顧客開拓に向けた新規広報ツール、スマートフォン向けのコンサート情報アプリ「チラシクラシック」については、運営事務局を賛助会員のイープラス社内に置き運営を行っている。令和4年度の運営概要報告は以下のとおり。

※事業名 チラシクラシック

対象期間 令和4年4月～令和5年3月までの一年間の運営報告（開始 平成30年10月25日）
運営主体 日本クラシック音楽事業協会
運営事務局 チラシクラシック運営事務局（株式会社イープラス内に設置）
内容 観客の高齢化が進むクラシック界において、新たな観客（特にライト層や若年等）に向けた情報提供活動として、いつでもスマートフォンから全国で実施されるクラシックコンサートのチラシが無料で閲覧できるサービス。

- ・ インストール数：10,690(+1,340) (対前年比:1.14) 昨年より14%増
- ・ 掲載チラシ総数：1,259 (対前年比:1.18) 昨年より18%増
- ・ 主催者数：93 団体/93 名 (対前年比 1.55/1.5) 両方とも約50%増
- ・ 1日当りの掲載公演数：3.45 (対前年比:1.18) 昨年より1.2倍
- ・ 平均チラシ掲載期間：115日 (対前年比 66.1) 昨年より66倍
- ・ セッション数：17,757 (アプリの起動数) (対前年比:1.27) 昨年より27%増
- ・ スクリーン数：335,399 (画面数) (対前年比:1.19) 昨年より19%増
- ・ セッション別：18.89 (1回平均画面数) (対前年比:0.94) 昨年より6%減
- ・ 新規ユーザー：1,827 (新規ユーザー率 60%) 昨年より60%増

(2) クラシック・アワード(仮称)の創設に向けた活動については、その骨子となる仕組みについて、統括執行役員会と共に協議を行っており、ワーキンググループの立ち上げについては、次年度へ持ち越す事となった。

2、音楽関連人材育成事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽に関する人材育成として会員向けの研修会を下記の通り開催した。尚、シンポジウム、経営懇談会、女性部会については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、会員各位の公演活動の円滑な開催に傾注する為、今年は開催しなかった。尚、5(2)に記載の協力活動における人材育成事業について会員各位に参加を呼びかけて開催に協力した。

※会員研修会

第1回 テーマ「あと半年！インボイス制度について学ぶ Part2」

日時 令和5年3月17日（金）13時00分～15時00分

会場 オフィスサークルN五反田 地下1階 セミナー室(大) [品川区]

参加者 協会会員社 計36名

ゲスト 杉井俊文（税理士/ソーシャルグッド会計事務所）

コーディネーター 入山功一（協会会長/（株）AMATI 代表取締役社長）

内容 今年10月に導入される消費税のインボイス制度への対応策について、会計処理及び税務処理

に関して、音楽事業者や音楽家の実務に沿った解説を対応事例を踏まえて実施した。

- (2) with コロナ対策としてクラシック音楽事業における契約条項の見直しについては、現在コロナ対応中と言う事もあり、検討が必要な課題を精査している。コロナの5類移行による見直し等も含めて、しかるべきタイミングにて見直しを行う方針である。

3、アーティスト連携事業（定款第4条第1号関係）

(1) 地域創造連携事業

○公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）

一般財団法人地域創造の実施する公共ホール音楽活性化事業に制作協力して、全国の公共ホールに於けるクラシック音楽の普及と地域音楽文化の活性化を促進する為、同財団からの受託事業として、登録演奏家のプレゼンテーションを受託している。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、初のオンライン配信を実施したが今回はリアルでの開催となった。

※令和4年度公共ホール音楽活性化事業（全国13地域で実施。内、中止1地域）

※令和4年度登録アーティストによるプレゼンテーション

5組(5名)の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。
令和4年4月19日(火) /会場：トッパンホール(飯田橋)

○公共ホール音楽活性化支援事業（おんかつ支援）

公共ホール音楽活性化事業のフォローアップメニューとして、おんかつ事業実施ホールとOB・OGアーティストとの再マッチングにより、各地域でのおんかつ事業の継続を計る為の事業。おんかつ事業と同様に同財団からの受託事業として登録アーティストのプレゼンテーションを開催するとともに、令和4年度は全国31地域(内中止1地域)で実施した。

※登録アーティストによるプレゼンテーション

当協会会員社所属の全105人(組)の登録アーティストのうち、48組64名によるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

令和4年7月26日(火)27日(水) /会場：東京芸術劇場B2F リハーサル室

※令和5・6年度を登録期限とするアーティスト選考会の実施、並びに新規登録アーティストへの集合研修及び実地研修の実施。

【第一次選考会(音源・書類審査)】令和4年5月27日(金) /会場：地域創造会議室

【第二次選考会(実技・面接審査)】令和4年7月28・29日(木・金) /会場：トッパンホール
集合研修 令和4年10月6・7日(木・金) /会場：地域創造会議室

実地研修 令和4年11月21日～3月8日の期間

/会場：愛知県幸田町、福島県いわき市、茨城県つくば市

○公共ホール音楽活性化支援・文化庁連携事業（文化庁連携）

公共ホール音楽活性化支援事業の継続事業である本事業は、アウトリーチの実施部分を文化庁の支援、コンサート部分の支援を地域創造のスキームで実施し、今年度は全国3地域に当協会会員社所属の登録アーティストの派遣を行った。

○公共ホール邦楽活性化事業 OB、OGアーティストの支援登録のマネジメント斡旋

おんかつ事業の兄弟事業である公共ホール邦楽活性化事業では、OB・OGアーティストの支援制度がない事から、おんかつ支援事業の枠組みによるOB・OGアーティストの派遣が出来るよう、支援事業実施に向けたマネジメントの斡旋を行い、3組のアーティストの支援登録を行った。

4、情報収集発信事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽事業ガイドの発刊に向けた編集作業と広報誌の発刊

※クラシック音楽事業ガイド

隔年発刊のクラシック音楽事業ガイド2023-2024を、令和5年6月末日に発刊すべく、今号より会員社の(株)ミツマ・ミュージックプロダクツと(株)デザイン・グリッドの二社に編集印刷業務を委託して実施した。内容は前号と同様に協会及び会員社の紹介に特化する代わり、無償化し協会の広報に役立つ方針である。発行部数は前回同様1500部とした。

「クラシック音楽事業ガイド2023-2024」

発行予定 令和6年6月30日 1,500部 (無料)

発行所 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

編集 ガイド編集委員会

※広報誌「ポンプ&クラシックス!」

広報誌「ポンプ&クラシックス!」については年間四回季刊として協会活動の報告や各種情報等を掲載し、併せて協会加盟会員を記載して発行した。又発行部数は各号600部とし、会員を始め官庁及び関係団体にも配布し、協会活動の広報の役割を担っている。

タイトル：広報誌「ポンプ&クラシックス!」/ 発行人:入山功一 / 編集人:中村聡武

第36号=7月25日発行、第37号=10月7日発行、第38号=12月8日発行、第39号=2月28日発行。又、広報誌と連携し、協会からのメールニュース配信についても月次配信の定期ニュースの他、会員情報、事業関係情報、関係官庁・団体の情報等リアルタイムな情報発信を行っている。

尚、今年度のメール配信は新型コロナウイルスに関するもの(政府からの諸情報、ガイドライン、各種情報のお知らせ等)が32通、それ以外は51通で、新型コロナウイルス関係の情報より通常配信の情報が三年ぶりに増加した結果となった。

(2) JAPAN CLASSIC NAVI (ホームページの運営管理)

協会のオフィシャルウェブサイトの運営については、協会の実施する様々な事業紹介に加え、クラシック音楽公演運営推進協議会による「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の改定情報の公表及び科学的検証の公式報告書等を掲載している。

- ・平成25年のサイト開設後から9年間の累計閲覧数 約136万回
- ・令和4年度単年の閲覧数 約15,7万回(昨年度約21万回)
- ・閲覧数上位の記事：8,381回 [令和4年10月7日付改定のお知らせ「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第五次改定」]
7,742回 [令和4年5月16日付改定のお知らせ「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第四次改定」]

又、IIの3(3)で実施した文化庁アートキャラバン事業「クラシック・キャラバン2022」の特別サイトにおけるデータは以下の通りである。

<年間閲覧数>・アクセス数(セッション数)：3,8万回(対前年比0.65)昨年より35%減

・ページビュー数：12万ページ(対前年比0.4)昨年より60%減

<閲覧数上位のページ>・18,403回 [トップページ]・5,771回 [公演一覧]・3,982回 [出演者]

<閲覧数上位のニュース>・2,009回 [令和4年6月19日【開催決定!】クラシック・キャラバン2022]

・694回 [令和4年9月25日 メディア掲載(ぶらあぼONLINE)]

・671回 [令和4年10月5日 メディア出演(BS日テレ10/16)]

(3) クラシックコンサート市場調査(新型コロナウイルス感染症からの回復調査)の実施

昨年度実施調査「クラシック音楽公演に関する新型コロナウイルス感染症の影響調査」(委託:文化芸術推進フォーラム)をベースとし、本年度は当協会の市場調査として、会員各社に関わる公演総数や観客動員数、売上規模等の項目を新型コロナウイルス感染症からの回復調査として実施した。統括団体として業界の基礎データを収集し、クラシック音楽産業の社会的な認知と、業界の活動や役割を明確すると共に、こ

の調査結果は文化芸術推進フォーラムを通じて政府に提出し、コロナ禍からの復帰に向けた施策への反映させる方針である。以下の調査結果は令和4年6月に公表した令和3年度の回復調査データである。尚、令和4年度の調査は実施中であり6月の公表を予定している。

〈令和3年度の調査結果の概要〉

・調査対象:当協会会員のクラシック音楽事業者
(マネジメント・ホール・演奏創造教育団体・メディア慣例、その他関連業種)

・調査内容:公演開催数、観客動員数、事業収入 等

〈令和3年度調査結果の概要〉

- ・主催公演を中心とした公演回数では対前年比48%増加しているものの、観客動員数では対前年比17%の増加に留まっており、公演回数は回復傾向にあるものの動員数はその1/3程度の回復に留まっている。
- ・事業収入では主催公演で対前年比80%回復しているが、その32.5%が補助金で占められており、真水の回復率は22%と微増である。又、その他事業を含めた公演事業総収入では対前年比2%のマイナスであり、まだまだ回復傾向にあるとは言えない状況が浮き彫りとなった。

5、音楽文化振興事業（定款第4条第2項関係）

(1) 文化芸術推進フォーラム

当協会を始め、芸術文化関係団体24団体で構成する文化芸術推進フォーラムでは、文化芸術振興議員連盟（会長：塩谷立（自由民主党））と共に、文化芸術が社会において果たしうる役割を十二分に発揮していくことを目指し、文化芸術基本法の理念の浸透、啓発を図り、文化芸術振興のための政策提言等の活動を行っている。尚、令和4年度は新型コロナウイルス対応として、以下の様々な活動や政策提言等を当協会も参画して実施した。

- 4月6日 文化芸術振興議員連盟による勉強会「文化芸術の振興基盤の拡充について 他」
- 5月11日 文化芸術振興議員連盟による勉強会「文化芸術組織の組織と役割について 他」
- 6月1日 文化芸術推進フォーラム運営委員会「2022年度の事業計画・予算について 他」
- 6月8日 萩生田経済産業大臣へ議連提言を手交
- 6月13日 文化芸術振興議員連盟総会
- 8月1日 文化芸術推進フォーラム「提言2022」を公表
- 8月5日 令和5年度文化予算について財務大臣らへ要望
- 9月6日 文化芸術推進基本計画への意見共有
- 10月11日 文化芸術振興議員連盟による勉強会「コロナ禍3年間の影響について」
- 11月15日 文化芸術振興議員連盟による勉強会「世界の芸術家への社会保障について 他」
- 11月22日 文化庁予算の抜本的な拡大を求める決議
- 2月1日 文化芸術振興議員連盟による勉強会「令和5年度文化庁関係予算について 他」
- 3月8日 文化芸術推進フォーラム運営委員会「2023年度の活動について 他」

(2) 日本音楽芸術マネジメント学会

日本音楽芸術マネジメント学会の活動については、役員を派遣する他、年二回の研究会の開催にも協力しており、クラシックコンサート界の人材育成・調査研究等について産学連携を構築している。

※第14回夏の研究会（アフターコロナ～新たな「つながり」を見据えて）

シンポジウム「劇場圏とは何か」

パネルディスカッション「芸術文化の統括団体の役割を考える～コロナ禍を経て」

令和4年9月4日（日）13:30～シンポジウム、15:00～パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、当協会の丹羽常任理事が登壇し、コロナ禍を経験した統括団体としての活動や今後の展望について各種報告を行なった。

※第15回春の研究大会（シンポジウムと研究発表、ラウンドテーブル）

研究発表・ラウンドテーブル 令和5年3月26日（日）09:30～15:45

12のテーマによる研究発表、2つのテーマの現場レポート、1つのテーマのラウンドテーブル
シンポジウム「ポストコロナの日本のクラシック音楽界を考える」
令和5年3月26日(日) 16:00~18:00

6、国際交流事業（定款第4条第2項関係）

(1) FACP（アジア文化芸術交流促進連盟）への参加

2022第40回年次総会〔台湾・高雄市〕については、リアルとリモートによるハイブリッドで開催されたが、コロナパンデミックにより海外からは参加出来ず極めて小規模の開催にとどまった。尚、日本からの参加は無かった。2023の年次総会は新たな会長を中心にFACP日本も準備に向けて協力体制の構築に努めている。

7、企業イベント制作事業（定款第4条第3項関係）

(1) 宝くじ文化事業

※宝くじドリーム館 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの販売促進及び普及宣伝に向けた普及型コンサートを、東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間12回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間12回それぞれ開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとコンサートを通じたクラシック音楽普及活動を行なった。尚、新型コロナウイルス感染症対策による入場制限により、東京は60名制限、大阪は40名制限の限定入場者での開催となった。東京の全12回の合計来場者数は約720人、大阪の全12回の合計来場者数は約480人。

東京ドリーム館は原則毎月第三水曜日の12:00ランチタイムに開催。

大阪ドリーム館は原則毎月第三木曜日の16:00トワイライトで開催。

〔出演者の所属会員〕

アーティフィニティ、1002、コンサートイマジン、東京コンサーツ、二期会21、日本アーティスト、ノジリスタジオ、プロアルテムジケ、MIYAZAWA&Co.、ミリオンコンサート協会、他

尚、出演者の選定については、宝くじと言う公益性を重視して、公共ホール音楽活性化事業の登録アーティストを中心に選出している。

※年末ジャンボ宝くじ抽せん会アトラクションの制作

年末ジャンボ宝くじでは12月31日の抽せん会後のアトラクションにて昨年引き続きクラシックコンサートが実施される事となり、当協会が公演制作の全てを受託した。昨年は新型コロナウイルス対策として定員の1/2の入場制限だったが、今回は制限無しでの開催により、1,000名を超えるほぼ満席に近い状態で開催され、ご来場された多くの宝くじファンに対して、クラシックコンサートの魅力をアピールする音楽普及活動を行なった。

12月31日(金) 抽せん会10:45開場/11:00開始(アトラクション14:00開始)

東京オペラシティコンサートホール

〔出演者の所属会員〕 ジャパン・アーツ、二期会21、日本オペラ振興会、AMATI

II 会議等の開催、委員会の報告、会員数の状況、その他の概況（令和4年度）

1、会議等の開催、委員会の報告

○総会

定時会員総会 6月23日(木) 14時00分 東京・品川区 スタンダード会議室
五反田ソニー通り店6階D会議室

○理事会

第1回定例理事会	5月26日(木)14時00分	東京・品川区	オフィスサークルN五反田セミナー室
第2回定例理事会	7月14日(木)14時00分	東京・品川区	オフィスサークルN五反田セミナー室
第3回定例理事会	1月12日(木)14時00分	東京・品川区	オフィスサークルN五反田セミナー室
第4回定例理事会	3月30日(木)14時00分	東京・品川区	オフィスサークルN五反田セミナー室

○執行役員会(会長・副会長・常任理事)

第1回執行役員会	5月26日(木)12時00分	東京・品川区	協会事務局会議室
第2回執行役員会	1月12日(木)12時00分	東京・品川区	協会事務局会議室
第3回執行役員会	3月30日(木)12時00分	東京・品川区	オフィスサークルN五反田セミナー室

○統括執行役員会(会長・常任理事)

第1回統括役員会	4月26日(火)16時00分	東京・品川区	協会事務局会議室
第2回統括役員会	7月14日(木)12時00分	東京・品川区	協会事務局会議室

○マネジメント部会

クラシック音楽普及事業の(1)、音楽関連人材育成事業の(2)に記載の活動を推進している。公演主催者との契約形態の在り方については、アフターコロナに向けて検討が必要な課題について会員外の公演主催団体等と協議を行っている。又、コロナ禍における水際対策緩和への働きかけを背景に、在留資格認定に関する緊急アンケートを実施する他、現在改正中である在留資格「興行」の演劇に係る上陸基準省令等の改正案について会員各位に意見照会を実施し、パブリックコメントを提出する等の活動を実施している。

○ホール部会

音楽関連人材育成事業の(2)に記載の活動を推進している他、マネジメント部会と共通の課題について意見交換を実施する他、ガイドラインの改定及び感染症法上の位置付け変更に伴う感染対策の案内策定等、ホール部会としての意見共有等につとめるほか、情報収集発信事業の(3)に記載の市場調査についても、ホール会員への協力の働きかけ等を実施した。

○教育・創造部会

音楽文化振興事業の(2)、に記載の活動を推進している。

○メディア部会

情報収集発信事業の(2)に記載の活動を推進している。

○オペラ部会

加盟会員のオペラ4団体と連携し、アート・キャラバン事業への協力、ガイドラインの改定及び感染症法上の位置付け変更に伴う感染対策の案内策定に向けた活動を実施している。

○関西地区連絡協議会

関西地区会員はコロナ禍の現状と課題を共有し、今後の対策を協議する為に今年度の計2回の協議会を開催した。

開催日：10月5日(水)13:00~15:00 ザ・シンフォニーホール会議室

2月25日(土)17:00~18:30 ザ・シンフォニーホール会議室

2、会員・役員の移動状況報告

令和4年度の会員数

	令和4年4月1日	令和5年4月1日	増減
正会員A	6	6	0
正会員B	29	29	0
正会員C	14	15	+1
賛助会員	47	46	-1
名誉会員	0	0	0

入会者：正会員C=株式会社プロマックス

賛助会員=株式会社シンファート

退会者：賛助会員=公益財団法人都民劇場、株式会社松尾楽器商会

令和4年度の役職員数

	令和4年4月1日	令和5年4月1日	増減
理事	16	15	-1
監事	2	2	0
顧問	4	4	0
参与	3	3	0
職員	3（役員兼務1名含む）	2（役員兼務1名含む）	-1

理事定数14名以上18名以内、監事2名又は3名、顧問・参与各4名以内

3、クラシック音楽の普及、関係団体との連携・協力に向けた活動

(1) 関係団体との連携・協力

- ・チケット適正流通協議会に加盟して活動を推進している。
- ・全国中小企業団体中央会（経済産業省・中小企業庁関係組織）に加盟して活動を推進している。
- ・文化芸術推進フォーラムに加盟して文化芸術の振興に向けた活動に協力している。
- ・音楽産業文化振興財団に加盟して事業を推進する他、善積参与を評議員として派遣している。
- ・子ども達と芸術家の出会う街ネットワークの構成団体として参画する他、丹羽常任理事を監事として派遣し事業に協力している。
- ・パシフィックミュージックフェスティバル組織委員会の顧問に入山会長が就任し活動を推進している。
- ・仙台国際音楽コンクール組織委員会の委員に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。
- ・日本音楽芸術マネジメント学会の理事に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。

(2) 後援名義等の許可状況

令和4年度は以下の6事業について当協会として名義後援を行った。

申請者：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会

事業名：第46回ピティナ・ピアノコンペティション特級セミファイナル・ファイナル

申請者：公益財団法人ロームミュージックファンデーション 事業名：スカラシップコンサート

申請者：公益財団法人仙台市市民文化事業団 事業名：仙台クラシックフェスティバル2022

申請者：学校法人東成学園昭和音楽大学

事業名：令和4年度新進芸術家や技術者等芸術活動を支える人材の育成事業

申請者：株式会社ザ・シンフォニーホール 事業名：オールスター 紅白オペラ歌合戦2022

申請者：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023 運営委員会 事業名：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023

(3) 文化庁 アートキャラバン事業の実施

文化庁令和3年度補正予算 文化芸術振興費補助金 統括団体によるアートキャラバン事業に応募し採択され「クラシック・キャラバン 2022～クラシック音楽が世界をつなぐ」と題したコンサートを昨年引き続き全国13地域にて計21公演を主催開催した。この事業はコロナ禍で鑑賞機会が失われた文化芸術の重

要性や魅力を発信することにより、需要喚起や業界全体の活性化を図る事を目的として実施された。

当協会では、昨年に引き続き会員公募による運営委員会を組織して取り組むと共に、今回は協会主催に加え、開催地毎に運営委員会の会員各社に公演制作を委託し共に主催する形式を採って実施した。開催実績として目標とした70%の集客目標は残念ながら達成できず約50%の動員数となったが、プロジェクトアンバサダーの宮崎美子氏を始め、日本テレビ等多くのメディアで数多く取り上げられた事により、ある程度の成果を挙げることができたと考えており、次年度も継続して開催できるよう政府及び関係官庁に働きかけている。

【実施概要】

公演タイトル:クラシック・キャラバン 2022 クラシック音楽が世界をつなぐ～輝く未来に向けて～

大ホール企画 9 公演〈華麗なるガラコンサート〉

9月18日(日) 13:30 [愛知] 愛知県芸術劇場コンサートホール

主催:クラシック名古屋

9月25日(日) 15:00 [北海道] 札幌コンサートホール Kitara 大ホール

主催:パシフィック・コンサート・マネジメント

9月27日(火) 18:30 [岩手] 岩手県民会館大ホール

主催:テンポプリモ

9月29日(木) 18:30 [東京] サントリーホール大ホール

主催:1002

10月10日(月) 15:00 [東京] 東京オペラシティコンサートホールタケミツメモリアル

主催:日本オペラ振興会

10月22日(土) 15:00 [大阪] ザ・シンフォニーホール

主催:大阪アートエージェンシー / 協力:ザ・シンフォニーホール

11月2日(水) 18:30 [広島] 広島文化学園 HBG ホール

主催:テンポプリモ

11月25日(金) 18:30 [石川] 石川県立音楽堂コンサートホール

主催:アスペン

12月8日(木) 18:30 [福岡] 福岡シンフォニーホール

主催:パシフィック・コンサート・マネジメント

小ホール企画 12 公演〈煌めくガラコンサート〉

9月18日(日) 15:00 [静岡] 静岡市清水文化会館マリナート

主催:アスペン

9月23日(金) 14:00 [宮崎] メディキット県民文化センター宮崎県立劇場演劇ホール

主催:AMATI

10月1日(土) 15:00 [沖縄] 南城市文化センターシュガーホール

主催:プロ アルテ ムジケ

10月2日(日) 14:00 [沖縄] 南城市文化センターシュガーホール

主催:プロ アルテ ムジケ

10月9日(日) 15:00 [山形] 山形テルサホール

主催:ジャパン・アーツ

12月1日(木) 19:00 [京都] 京都コンサートホールアンサンブルホールムラタ

主催:1002

12月2日(金) 19:00 [京都] 京都コンサートホールアンサンブルホールムラタ

主催:1002

12月5日(月) 18:30 [長野] 長野市芸術館メインホール

主催:Kトレーディング

12月9日(金) 19:00 [東京] 王子ホール

主催:新演コンサート/カモシタピアノ、東京コンサーツ、テレビマンユニオン

12月13日(火) 18:30 [香川] 香川県民ホールレクザム小ホール

主催:日本オペラ振興会

12月15日(木) 18:30 [高知] 高知県立県民文化センターグリーンホール

主催:日本オペラ振興会

12月22日(木) 18:30 [岡山] 倉敷市芸文館

主催:Kトレーディング

4、この法人の目的に適う事業

新型コロナウイルス感染症への対応と対策に向けた活動

当協会と公益社団法人日本オーケストラ連盟、公益社団法人日本演奏連盟他とクラシック音楽公演運営推進協議会を組織し、事務局を当協会内に設置して以下の諸活動を関係諸団体と連携して対応している。

・ガイドラインを改定(5月16日第四次改定、10月7日第五次改定、3月13日第六次改定)し、緩和に向けた取り組みを推進

・政府及び地方自治体等からのコロナ対策に関する情報等の周知 等

(運営推進協議会、関係文化団体等による会議等)

4月5日 第4次改定に向けた事前協議

4月27日 第4次改定に向け文化庁アドバイザリーボードでの協議

1月12日 全国公立文化施設協会ガイドライン改定を受けた改定ポイントの検討

2月6日 第6次改定に向け内閣官房コロナ室のヒアリング

2月14日 3月13日屋内マスクの緩和に向けた現行ガイドラインとの整合性に関する協議

3月30日 新型コロナウイルス感染症5類移行によるガイドラインの廃止に伴うクラシック音楽公演の感染対策の案内(案)の策定

(1) 主な活動報告

4月28日 イベント開催におけるチェックリストの作成・掲載アンケート

5月16日 クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第4次改定公表

6月20日 J-LOD(3)の採択状況等に関する緊急アンケートを会員に依頼

6月23日 クラシック音楽公演に関する新型コロナウイルス感染症からの回復調査の公表

7月7日 コロナ禍からの回復調査報告とJ-LOD(3)の採択改善を経産省へ要望

7月22日 7月15日付基本的対処方針改定に基づくイベント開催制限等について会員へ周知

7月27日 濃厚接触者の待機期間短縮等に関する国からの事務連絡を会員へ周知

8月24日 次年度のアートキャラバン事業に関する文化庁事務説明会

9月12日 9月8日付基本的対処方針改定に基づくイベント開催制限等について会員へ周知

10月7日 クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第5次改定公表

10月11日 VISAの取得手続きに関する在留資格認定申請について招聘事業各社へ周知

11月16日 文化庁と次年度アートキャラバン事業に関する協議

12月2日 基本的対処方針一部変更に基づくイベント開催制限等に係る留意事項等について会員へ周知

2月13日 東京都と文化芸術団体等とのネットワーク会議

3月1日 ガイドライン第6次改定案の事前協議

3月13日 クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第6次改定公表

3月14日 チケット適正流通協議会 意見交換会

3月31日 クラシック協会独自調査 新型コロナウイルス感染症からの回復調査の実施

(2) 文化芸術統括団体協議への参画

コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業に取り組んでいる文化芸術の統括団体による協議会に参画し、情報共有及び意見交換を行い、令和4年度の事業実施に関する意見交換及び令和5年度の事業化に向けた提案等に向けた取り組みを実施している。

(3) クラシック音楽公演運営推進協議会の事務局団体窓口業務

協議会により策定公表したガイドラインの継続的な改定業務、全国の感染状況による政府からの緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置等における、クラシック音楽公演の開催制限等の各種問い合わせ窓口として、全国の地方団体、全国のホール、アマチュア団体、クラシック音楽ファン、医療関係者等からの相談や苦情の窓口として対応し、クラシック音楽業界の統一窓口としての機能を果たしている。